

## 紅葉の季節となりました

待ちに待った立神峡の紅葉がもうすぐ始まります。例年、多くの観光客が訪れる立神峡。植樹したもみじやカエデも年々大きくなり、その成長が楽しみの1つとなっています。

立神峡の紅葉について、すでに多くの雑誌社が記事の原稿に取り入れ、毎年この時期になると掲載してくれますが、今年は例年になく取材が多く、併せてテレビなどで放映されると、たちどころに観光客が増えます。

紅葉の見頃は、今年も11月中旬以降と思われる。味覚の秋を楽しみながら、立神峡の紅葉を見に是非、訪れてください。整備に万全を尽くして、皆さんのお越しをお待ちしています。



## 「道の駅」竜北ウォーキング 2023 が開催 立神峡もこれに加わりました

「道の駅」竜北ウォーキングが今年も開催されます。コースは野津古墳群周回コース5kmと、新たに立神峡周回コース12.5kmが加わりました。11月5日、小雨決行です。開会式は午前8時30分から竜北公園憩いの広場で行われ、それぞれ2つのコースに分かれて出発します。募集定員は300人を予定しています。多くの参加者が、立神峡周遊コースで自然景観溢れる吊り橋と岩壁の壮さに魅了されることを期待しています。当日参加も可能です。

## 秋の味覚の栗拾いを技能実習生が体験

立神峡には、樹齢数十年という幹回り2メートルもある栗の大木があります。例年多くの、栗が実をたわわに付けますが、今年はなぜかほとんどが落下してしまい、わずかしが実がなりません。

そんな中、近くのタイ出身の技能実習生に話をしたところたいへん興味を示し、栗拾いにチャレンジ。初めての栗拾いに興奮した様子で一生懸命に探しながら栗を拾い、嬉しそうにしていました。

その後話を聞くと、2人で美味しく食べたとのこと。これも国際交流の一助になったかもしれませんね。

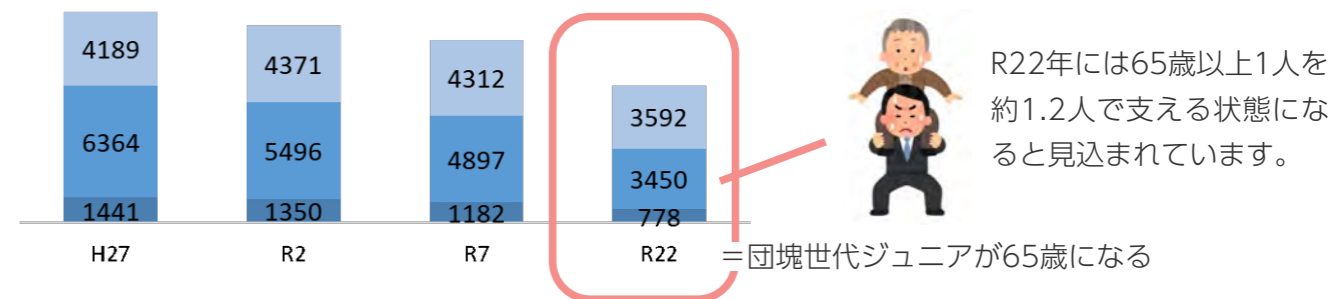


## 「氷川町第2期データヘルス計画 (H30~R5)」から見えるもの

データヘルス計画とは、社会情勢の変化に合わせて、健診・医療・介護のデータを活用して策定します。町の効果的かつ効率的な保健事業の実施に向けた計画として「社会保障の安定」「健康寿命の延伸」を目指すもので、分析を通して、町の健康課題が見えてきます。

### ●人口の推移・推計

■年少人口 (0~14歳) ■生産年齢人口 (15~64歳) ■老年人口 (65歳以上)



データ出典 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口 (平成30 (2018) 年推計)」

### ●介護の状況

認定者数 65歳以上 (1号認定)

	H30	R4
要支援1~2	190	218
要介護1~2	334	261
要介護3~5	335	319

40~64歳 (2号認定)

	H30	R4
要支援1~2	6	3
要介護1~2	4	6
要介護3~5	1	6

2号認定のうち、R4年に新たに介護保険を利用することになった4人を詳しく見てみると…

対象4名	介護度	特定健診受診状況	基礎疾患		
			糖尿病	高血圧	脂質異常症
Aさん50代	要支援1	未受診	○		
Bさん50代	要介護2	未受診	○	○	○
Cさん50代	要介護3	不定期	○	○	○
Dさん50代	要介護5	未受診	○	○	○

4人全員に基礎疾患あり (「糖尿病」は4人共通)

特定健診の受診歴は「不定期受診」や「未受診」

予防



動脈硬化からくる病気を予防する

医療



動脈硬化からくる病気を悪化させない

介護



予防や医療の中で糖尿病などの基礎疾患をうまく管理できていたら、大きな病気を予防し、介護認定につながらなかったかもしれません。

Scan QR code



氷川町データヘルス計画についてご意見をお聞かせください。